

朝日インテック株式会社

会社概要

2026年7月

(証券コード：7747 東証プライム、名証プレミア)

会社概要

社名	朝日インテック株式会社
本社	愛知県瀬戸市暁町3番地100
代表者	代表取締役会長 宮田 昌彦 代表取締役社長CEO 宮田 憲次
設立	1976年7月8日（現在 第51期目）
事業内容	医療機器 及び 極細ステンレスワイヤーロープ並びに端末加工品等の開発・製造・販売
連結売上高	1,200億2千5百万円（2025年6月期）
連結営業利益	300億7千9百万円（2025年6月期）
資本金	188億6千万円（2025年6月期）
従業員数	1,227名（単体） 9,848名（連結）（2026年3月末現在）
関係会社	連結子会社：20社 非連結子会社：5社
開発拠点	日本・タイ・米国
製造拠点	タイ・ベトナム・フィリピン・中国 ※
販売拠点	日本・米国・オランダ・フランス・ドイツ・イタリア・ロシア・中国・韓国・台湾・香港・シンガポール・タイ・インド・UAE・ブラジル・サウジアラビア
上場証券取引所	東証プライム市場、名証プレミア市場（証券コード7747）

※ 中国工場について、2030年12月頃から稼働開始予定です。

グローバルネットワーク – 開発/生産（日本と海外の棲み分け）



グローバル本社 R&Dセンター
（製品開発）



【日本】研究開発/試作



ベトナム: ASAHI INTECC HANOI CO., LTD.



タイ: ASAHI INTECC THAILAND CO., LTD.



中国: 朝日英达医疗器械（南宁）有限公司

※2030年12月頃に稼働開始予定



フィリピン:
TOYOFLEX CEBU CORPORATION

生産 3 拠点
1 拠点準備中

【海外】生産拠点

日本は研究開発・試作に特化し、生産（量産）は全て海外工場にて実施

販売拠点

国内10拠点



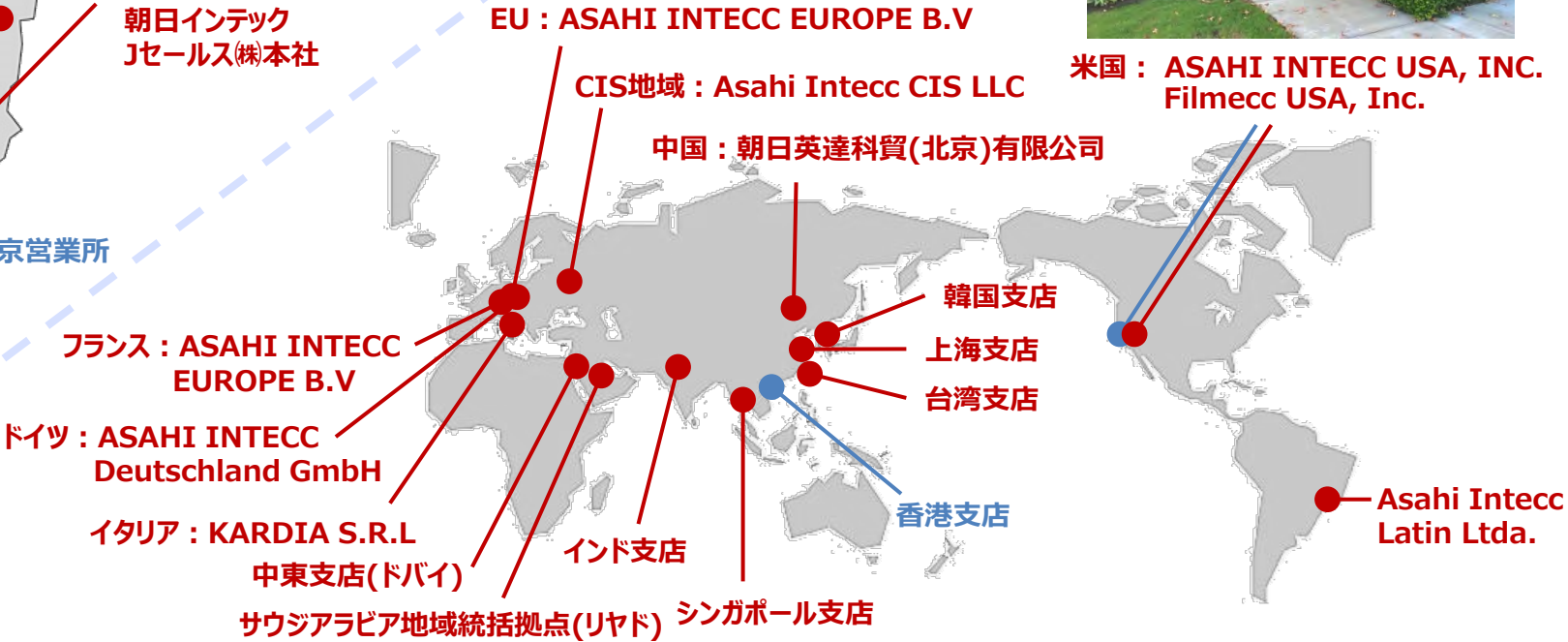
グローバル本社・R&Dセンター



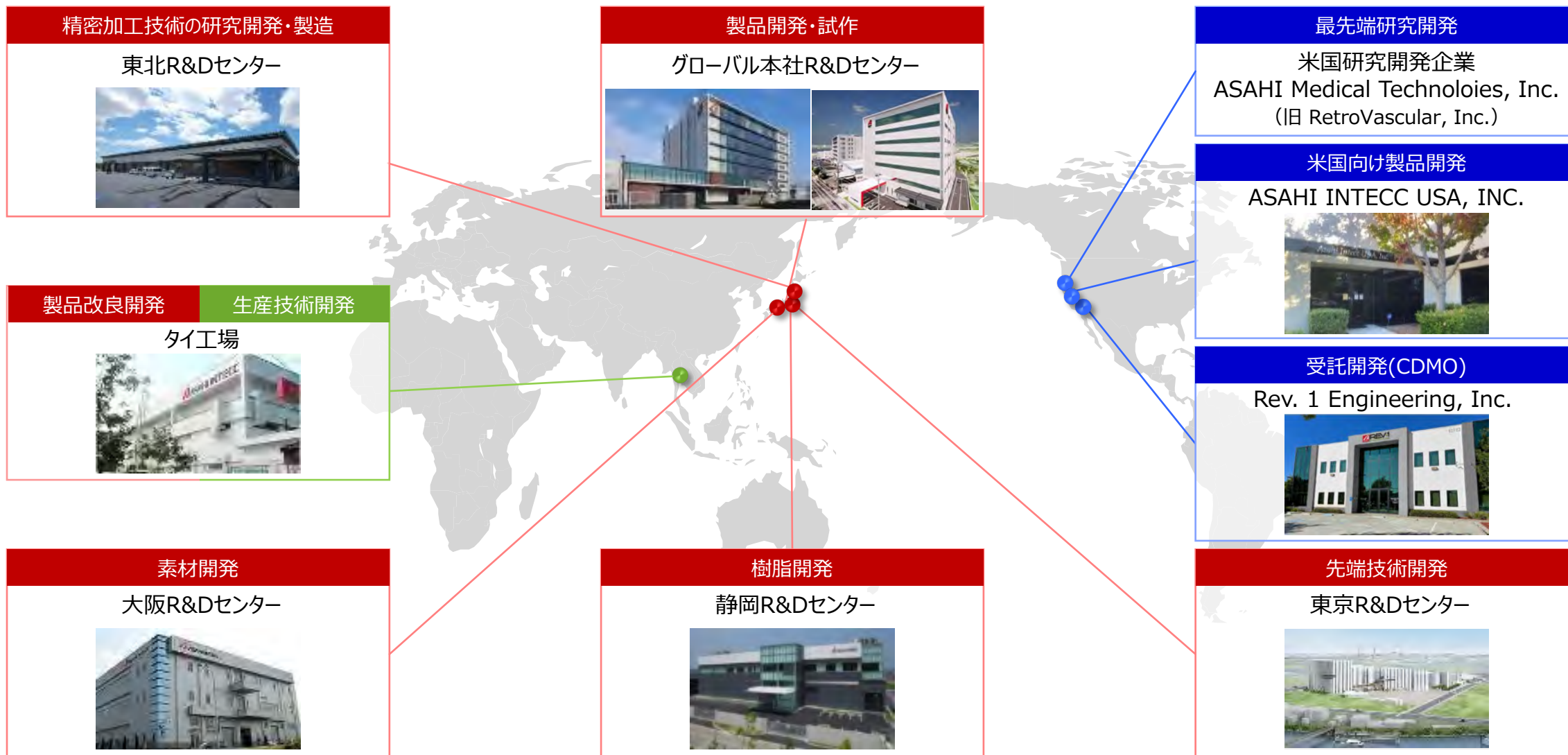
海外17拠点



米国 : ASAHI INTECC USA, INC. Filmecc USA, Inc.



研究開発拠点



事業分野・事業セグメント

■ 2025年6月期

売上高 120,025百万円

営業利益 30,079百万円

メディカル事業
(自社ブランド製品・OEM供給品)



医療機器分野
(約96%)



産業機器分野
(約 4%)

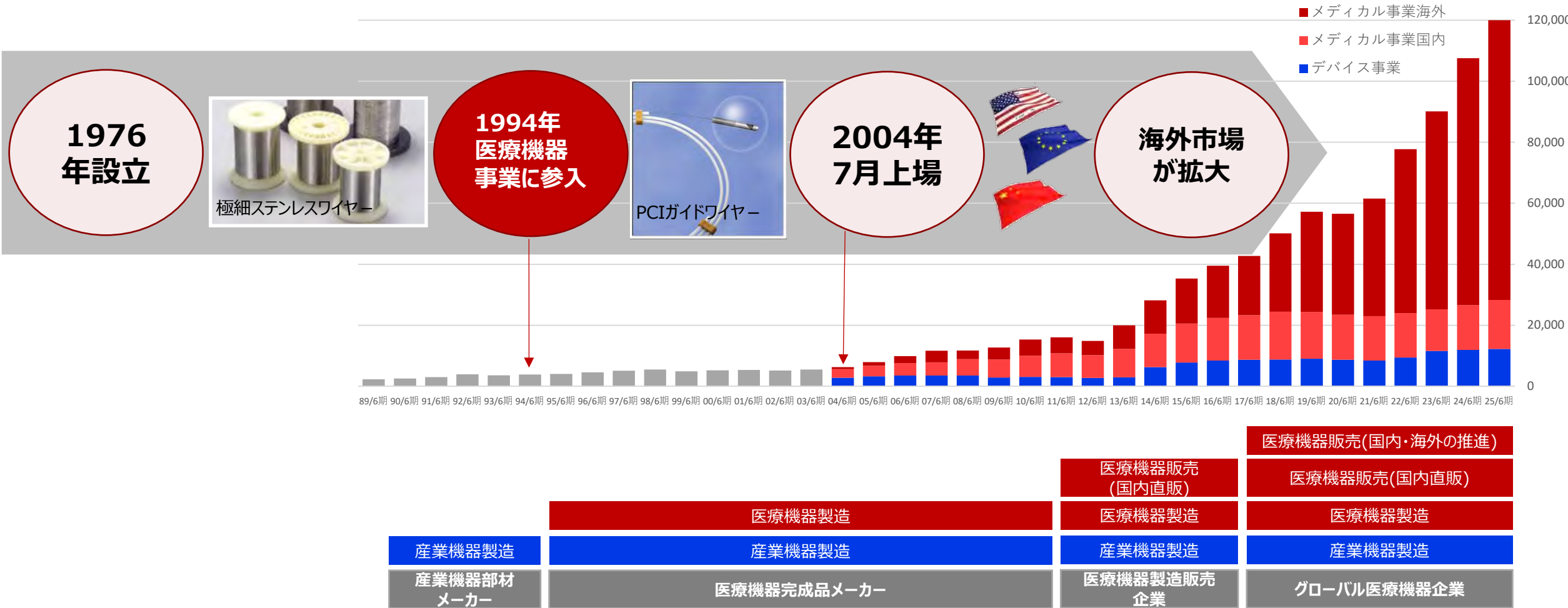


デバイス事業
(医療部材・産業部材)

産業機器分野から医療機器分野への進出

産業機器分野で培った極細ステンレスワイヤーロープの技術を生かし、医療機器分野へ進出。
特にメディカル事業の海外市場が大きく成長

(単位：百万円)
140,000



事業内容と主要製品群

産業機器用のワイヤーロープ製造を起点とし、医療機器分野(アクセスデバイス)への事業を拡大

デバイス事業 10%

メディカル事業 90%

産業機器分野 4%

医療機器分野 96%

産業部材



素線

シンクロメッシュロープ

<< 使用される市場 >>



スポーツ



家電

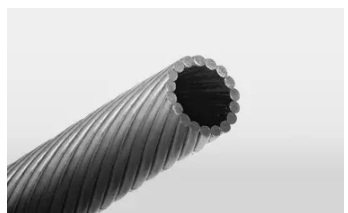


OA機器

医療部材



ワイヤーロープ・チューブ
(内視鏡処置具の部材)



ACT ONE

自社ブランド製品・OEM供給品

治療用 アクセスデバイス



PCIガイドワイヤー
— 売上の約50%を占める —
主力製品



PCIバルーンカテーテル



PCIガイディングカテーテル



貫通用カテーテル

OEM供給品



創業時

1994年 医療機器事業に参入

メディカル事業の主要製品群

治療用カテーテルシステム

循環器系

- **PCIガイドワイヤー**
- PCIガイディングカテーテル
- PCIバルーンカテーテル
- 貫通カテーテル

末梢血管系・腹部血管系・脳血管系

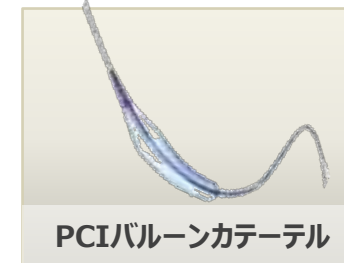
- ペリフェラルガイドワイヤー
- IVRガイドワイヤー
- 脳血管系ガイドワイヤー

検査用カテーテルシステム

- 血管造影用ガイドワイヤー
- 血管造影用カテーテル

OEM供給品

- 主に循環器系以外のカテーテル関連製品



弊社の売上高の**48.2%**（2025年6月期）を占める主力製品

PCI治療（経皮的冠動脈形成術）とは -1

- 冠動脈疾患（狭心症・心筋梗塞等）の治療法
- 狭窄部を広げて血流を確保
- 患者の精神的・肉体的負担を最小限に抑える為に、開腹・開胸する事なく、太腿や手首の血管を通じて治療を行う

外科的治療

バイパス手術



内科的治療

低侵襲治療（PCI治療）

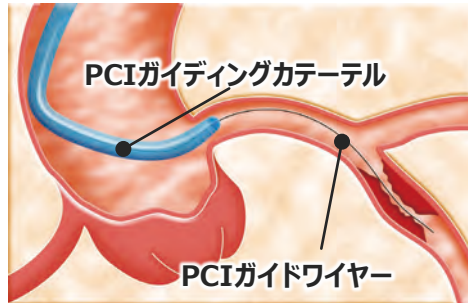


PCI治療（経皮的冠動脈形成術）とは -2

PCI治療を成功させるためには、PCIガイドワイヤーが患部に到達しなければならない

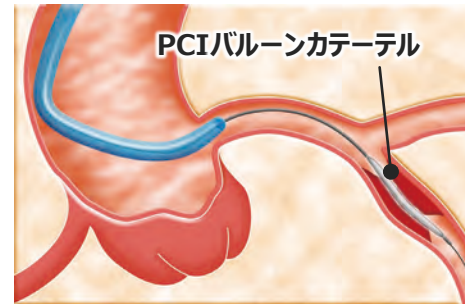
① PCIガイドワイヤー通過

PCIガイディングカテーテルと呼ばれる細い管を血管に挿入し、その中にPCIガイドワイヤーを通します。



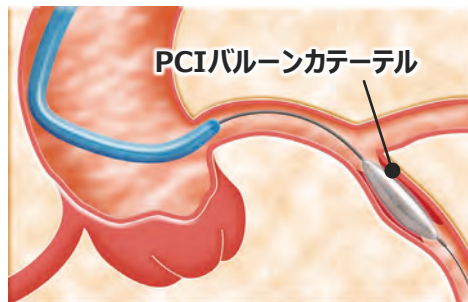
② PCIバルーンカテーテル挿入

PCIガイドワイヤーに沿って、PCIバルーンカテーテルを血管の狭くなっている部分まで進めます。



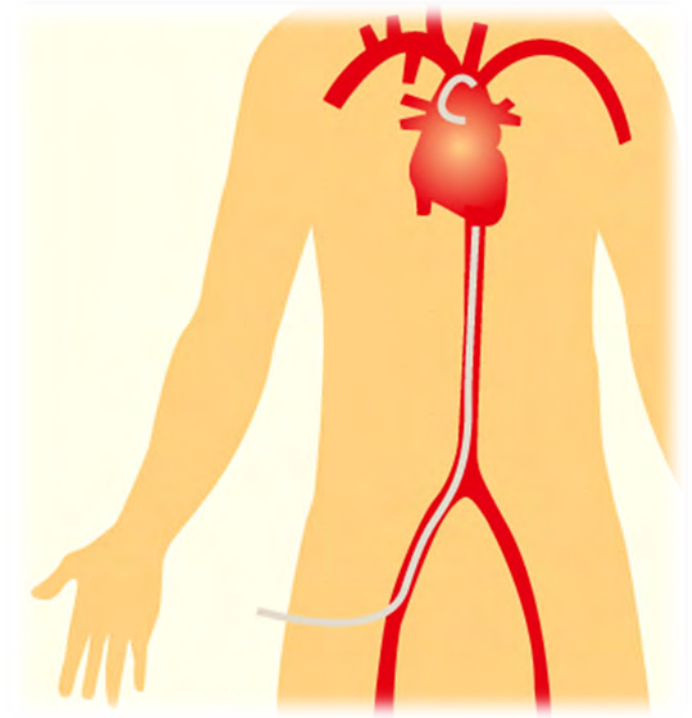
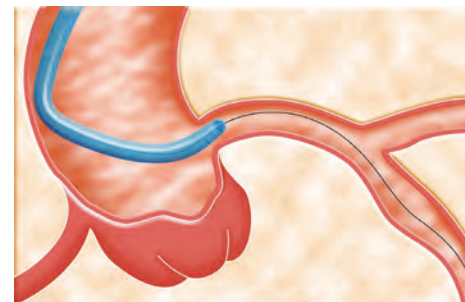
③ PCIバルーンカテーテル拡張

バルーン（風船）をふくらませ、内側から血管を押し広げます。



④ PCIバルーンカテーテル抜去

狭くなっていた部分が広げられ、血液の流れがよくなります。

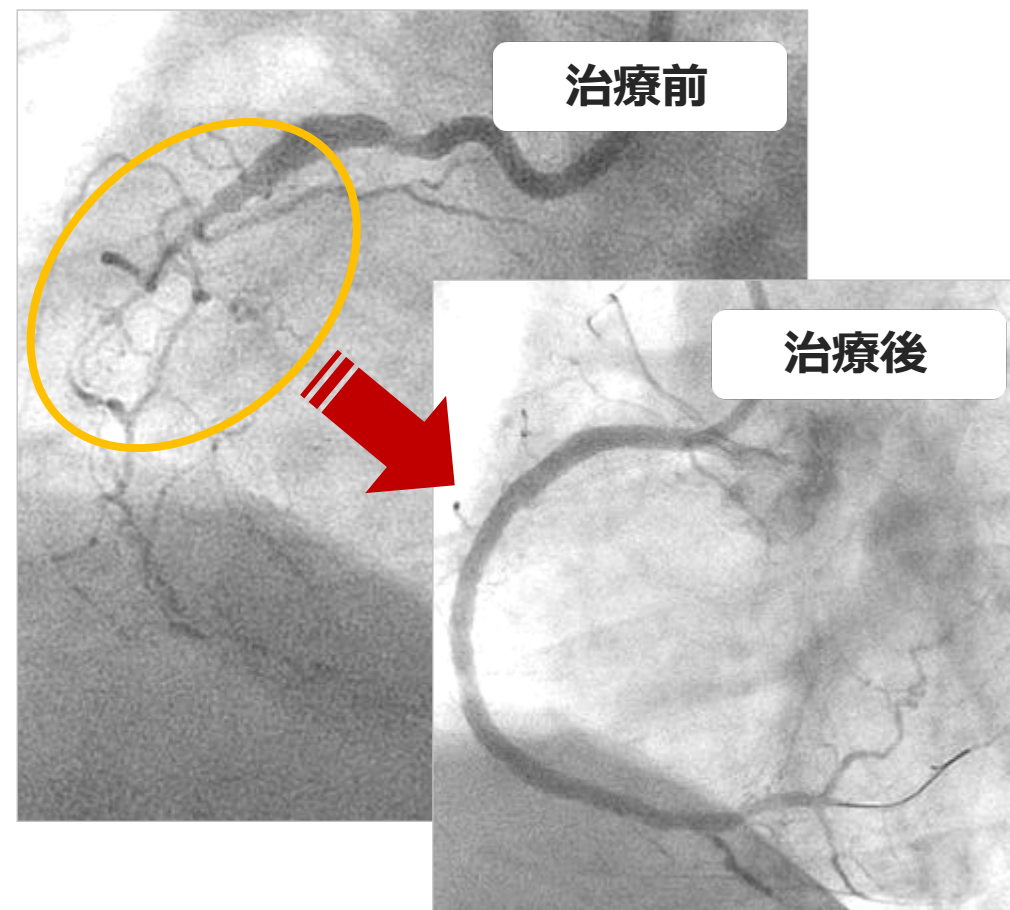


PCI治療（経皮的冠動脈形成術）とは -3

比較的簡単な病変

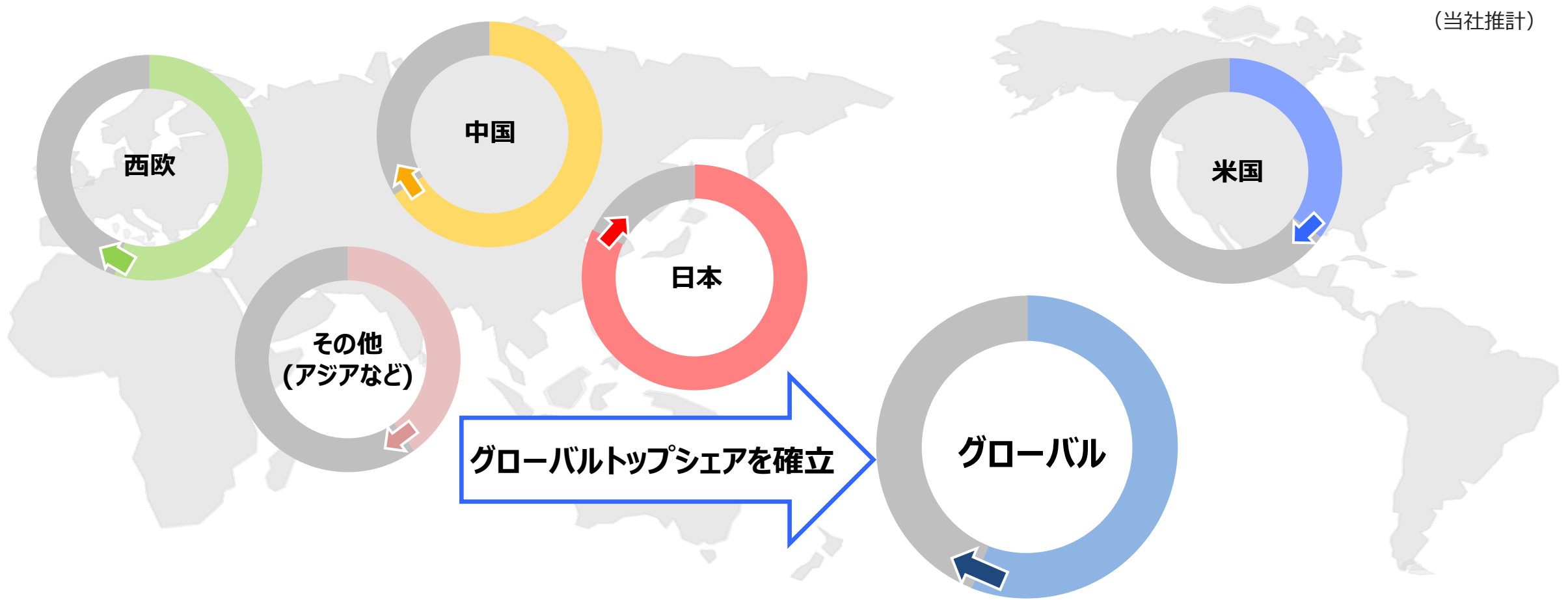


難易度の高い病変



主力製品PCIガイドワイヤーの市場シェア【2025年6月期】

(当社推計)



全地域において、引き続き市場シェア拡大に努めて参ります

技術の優位性 4つのコアテクノロジー

優れた回転追従性（トルク性）



先端の柔軟性（安全な操作）



ドクターの「指先の微妙な動き」を「先端に忠実に伝える」ことが可能

競争力の源泉：4つのコアテクノロジー

強度・線径コントロール



回転追従性



伸線技術

ワイヤー
フォーミング
技術

ミクロンレベルの成形



素材から製品までの
一貫生産体制

トルク技術

樹脂
コーティング
技術

極薄膜コーティング



当社のフラッグシップ CTO治療

CTO領域におけるPCI治療の実現

■ CTO（慢性完全閉塞）とは？

- 石灰化した硬い病変
- 完全に血管が詰まった状態

The diagram illustrates the CTO treatment process. The top part shows a cross-section of a blood vessel with a red arrow labeled '血流' (blood flow) and a yellow area labeled 'コレステロール' (cholesterol). The bottom part shows a blue line labeled 'ガイドワイヤー' (guide wire) inserted into the vessel.



従来は外科手術の領域

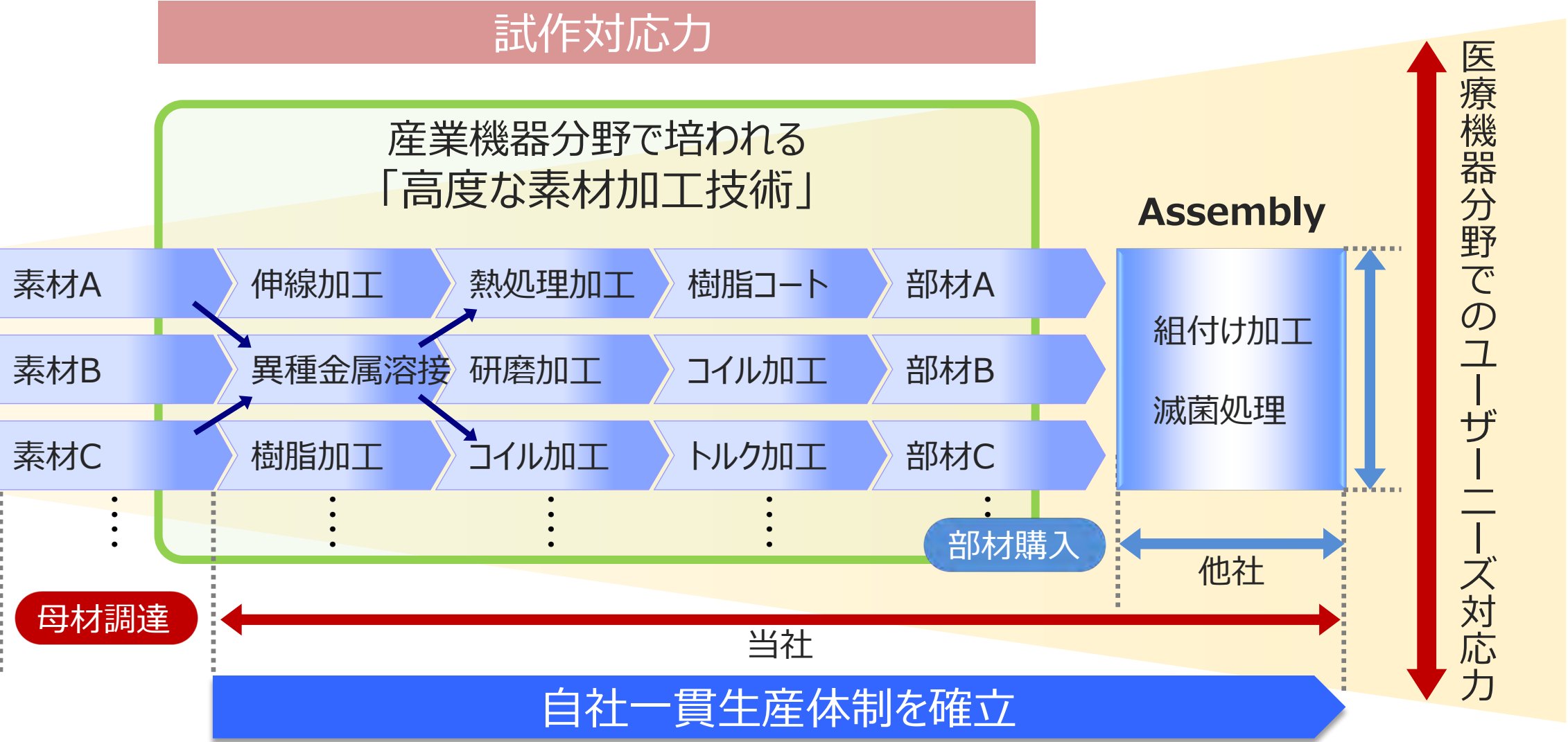
ガイドワイヤーを輸入に頼っていた時代、日本のKOLドクターから CTOを治療できるワイヤーの開発を大手海外メーカーに打診したが実現しなかった

※KOL(Key Opinion Leader)・・・医療業界で多方面に影響を持つ医師のことを指します

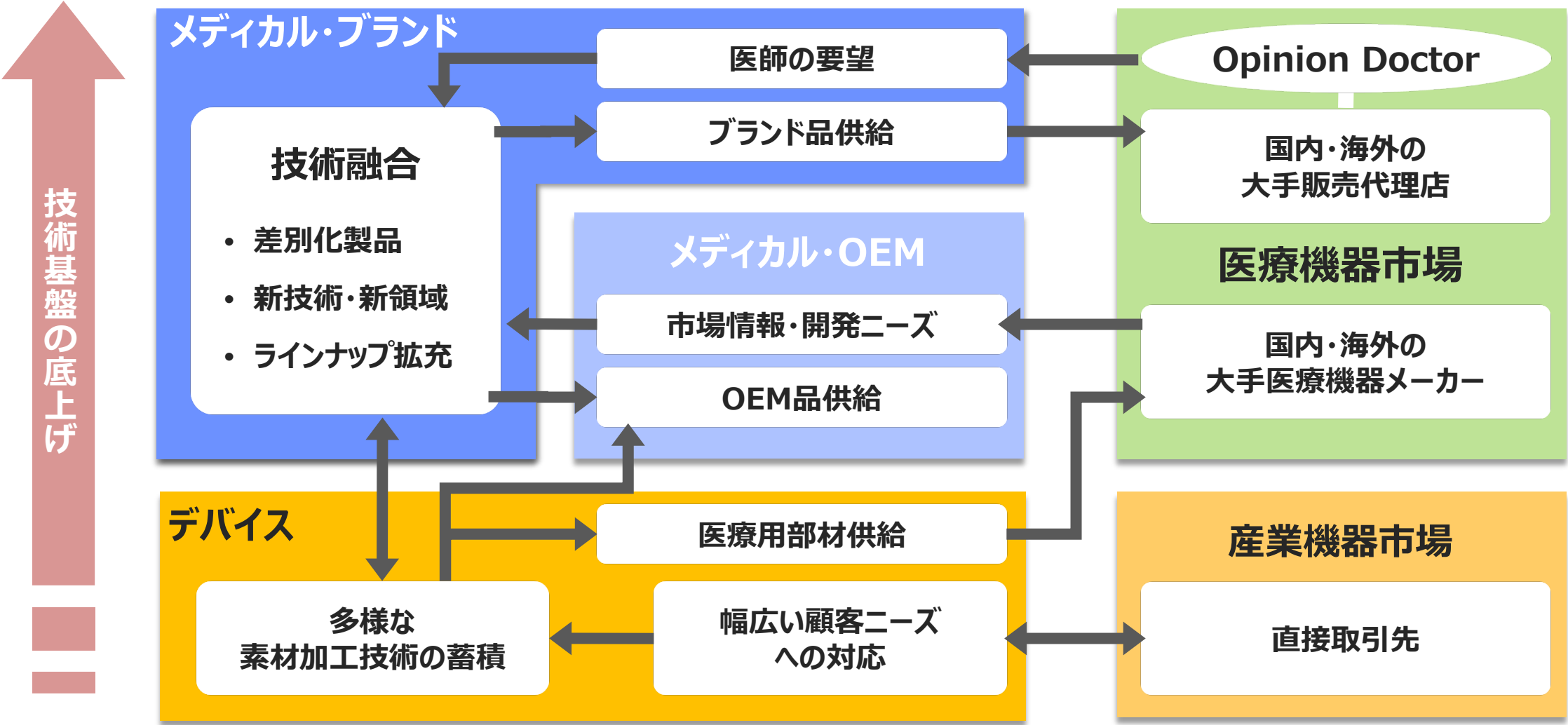
CTOを治療できるPCIガイドワイヤーを開発（1995年）

低侵襲治療によるCTO治療を飛躍的に拡大

当社の強み
医療機器の競争力 = 素材を扱う高度な技術



当社の強み
事業構造のメリット（融合・複合・循環）



本資料における注記事項

本資料に記載されている、将来の業績に関する計画、見通し、戦略などは現在入手可能な情報に基づき判断したものであり、リスクや不確実性を含んでおります。

実際の業績は、様々な重要な要素により、大きく異なる結果となりうることをご承知おきください。

【本資料及び当社IRに関するお問合せ先】

朝日インテック株式会社 経営戦略室

TEL 0561-56-1851 (Direct)

URL <https://www.asahi-intecc.co.jp>